

2025年5月4日(日)
SUPER GT 第2戦 決勝
富士スピードウェイ

決勝結果

13位

決勝概要

- ・3時間で争われる決勝レース
- ・スタートを担当した伊沢は自身のスティントを苦しいながらも着実に走り切る
- ・2スティント目と3スティント目を担当した大草は冷静にマシンをチェッカーまで運び13位フィニッシュ

コメント

監督：中嶋 悟

「3時間のレースを走り切ることはできましたが、いろいろな部分で少しずつ遅れを取っていると感じています。ドライバーは2人ともしっかりと役目を果たしてくれました。次戦のセパンに向けて、今回の反省点を生かせるよう準備をしていきたいと思いません。今回もたくさんのご声援をありがとうございました」

伊沢 拓也

「順位的には厳しいものになりましたが、今回はタイヤに新しいものを投入したりという挑戦の中で、いいところも見つかったレースになったと感じています。ラップタイムは周りに比べて苦しかったものの、ピックアップやタイヤのフィーリングに関して

「はいいものも得られたので、今日の走りが、なんとか次戦のセパンに繋がるものになればいいと思っています」

大草 りき

「前半の伊沢選手の様子から、結構厳しいだろうというのは予想していました。僕が担当した2ステイント目では、タイム的には周りに比べてそれほど劣ってはいなかったと思います。3ステイント目に関しては、2ステイント目とは違うタイヤをチョイスしたのですが、タイム的に厳しい状況で終わってしまい、悔しいレースになりました。今回は新しいものを投入していたので、これをトライアンドエラーととらえて、次戦は今回を超えるようなタイヤを作って、結果を残したいと思います」

※次戦は6月27日・28日にセパン・インターナショナル・サーキット（マレーシア）で開催されます。